

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEGON Kids谷町		
○保護者評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年1月21日		～ 2026年1月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢層の児童と交流する機会が多い。	プログラミングや学習など年齢によらず同じ部屋で同じ活動を行えるよう環境を整えているため、自然と年上児童の取り組みが未就学児童の目標となり、活動意欲にもつながっている。	SSTや運動の集団活動においても未就学児童と未就学児童が混合になるようチーム分けをするなど、より交流を深められるような環境づくりを行う。
2	外出支援や調理、工作、SSTなど幅広いレクリエーションを開催している。	・未就学でも興味をもちやすく参加できるレクリエーションを職員全員で考えている。 ・発達の程度や課題に応じた役割を持たせ、活動の中で試行錯誤する経験や達成感を持ち自身に繋げることを大切にしている。	今後も保護者のニーズに合わせたレクリエーションを考え、実践していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日によって未就学児童の利用人数にばらつきがある。	SSTやプログラミング等、事業所が強みとしている活動が未就学児童にとって難しそうな印象を与えていると考えられる。	ホームページ、各種SNSにおいて未就学児が活動している様子の発信を増やしていく。
2	保護者交流会の認知が進んでいない。	開催が少なく、保護者に周知・定着ができていない。	・分かりやすい画像や文面で保護者への認知を促し、参加に繋げていく。 ・保護者交流ができる時間、子どもと一緒に参加できる時間など設けられるよう努める。
3			